



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年1月31日

上場会社名 クボテック株式会社
 コード番号 7709 URL <http://www.kubotek.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 久保哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 記虎政史

TEL 06-6443-1815

四半期報告書提出予定日 2019年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	1,368	43.6	310		194		94	17.9
2018年3月期第3四半期	2,425	35.0	136		128		80	

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 71百万円 (18.0%) 2018年3月期第3四半期 87百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	6.87	
2018年3月期第3四半期	5.83	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	3,713	1,298	35.0	94.31
2018年3月期	3,848	1,227	31.9	89.13

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 1,298百万円 2018年3月期 1,227百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		0.00	0.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,550	52.5	560		450		180		13.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	13,830,000 株	2018年3月期	13,830,000 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	62,159 株	2018年3月期	62,159 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	13,767,841 株	2018年3月期3Q	13,767,841 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

2019年3月期第3四半期決算短信より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな回復が続きましたが、米中貿易摩擦の激化による世界経済への影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況となっております。液晶を始めとするフラットパネルディスプレイ (FPD) の分野におきましては、FPDメーカーの設備投資に慎重な動きが見られるなど、厳しい受注環境となりました。

このような環境の中、当社グループでは、製品開発、販売拡大により事業基盤の強化を図ってまいりましたが、主力製品の画像処理外観検査装置は主要顧客の設備投資時期の影響を受け大幅な減収となりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高1,368百万円（前年同四半期比43.6%減）、営業損失310百万円（前年同四半期は営業利益136百万円）となりました。また、海外子会社Kubotek USAのIPアドレス売却に伴う貯蔵品売却益129百万円を営業外収益に計上した結果、経常損失194百万円（前年同四半期は経常利益128百万円）となり、京都第三工場土地・建物の売却に伴う固定資産売却益309百万円を特別利益に計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は94百万円（前年同四半期比17.9%増）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

日本セグメントでは、主力製品である画像処理外観検査装置の売上は大幅に減少しました。この結果、売上高は849百万円（前年同四半期比57.6%減）、セグメント損失は354百万円（前年同四半期はセグメント利益66百万円）となりました。

米国セグメントでは、CAD/CAMソフト「KEYCREATOR」の売上が伸び悩みました。この結果、売上高は293百万円（前年同四半期比2.9%増）、セグメント損失は0.1百万円（前年同四半期はセグメント利益33百万円）となりました。

韓国セグメントでは、画像処理外観検査装置の売上が増加しました。この結果、売上高は224百万円（前年同四半期比66.8%増）、セグメント利益は22百万円（前年同四半期はセグメント損失1百万円）となりました。

当面このような厳しい状況が続くことが予想されますが、当社グループは引続き売上確保に向けた受注努力とコストダウンに取り組むとともに、エネルギー事業におけるフライホイール大出力発電装置の開発やオーディオ事業の早期事業化を積極的に推進し、収益力向上に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ135百万円減少しました。流動資産は現金預金の増加444百万円、売上債権の減少330百万円などにより、90百万円増加しました。固定資産は京都第三工場土地・建物売却に伴う有形固定資産の減少などにより、225百万円減少しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ206百万円減少しました。流動負債は仕入債務の減少258百万円、短期借入金の減少705百万円などにより、1,032百万円減少しました。固定負債は長期借入金の増加などにより、825百万円増加しました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益94百万円の計上などにより、純資産合計が71百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年1月24日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,099,414	1,543,930
受取手形及び売掛金	1,216,793	801,950
電子記録債権	97,034	181,479
商品及び製品	14,236	13,349
仕掛品	265,701	290,143
原材料及び貯蔵品	112,524	103,936
その他	100,626	60,748
貸倒引当金	△21,639	△20,747
流動資産合計	2,884,693	2,974,791
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	191,429	140,807
土地	558,514	368,865
その他(純額)	36,165	32,350
有形固定資産合計	786,109	542,023
無形固定資産		
ソフトウェア	147,036	165,770
その他	2,285	2,285
無形固定資産合計	149,322	168,055
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,772	1,045
その他	106,187	27,924
貸倒引当金	△79,360	△238
投資その他の資産合計	28,598	28,731
固定資産合計	964,029	738,810
資産合計	3,848,723	3,713,602
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	478,669	220,114
短期借入金	1,391,000	685,924
未払法人税等	30,730	2,470
賞与引当金	16,070	4,400
関係会社整理損失引当金	30,032	30,032
その他	370,642	341,998
流動負債合計	2,317,144	1,284,940
固定負債		
長期借入金	246,000	1,063,576
繰延税金負債	5,187	6,183
退職給付に係る負債	49,571	51,928
その他	3,725	8,532
固定負債合計	304,484	1,130,220
負債合計	2,621,628	2,415,160

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,951,750	1,951,750
利益剰余金	△679,148	△584,568
自己株式	△81,717	△81,717
株主資本合計	1,190,883	1,285,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△355	△1,162
為替換算調整勘定	36,566	14,140
その他の包括利益累計額合計	36,211	12,977
純資産合計	1,227,094	1,298,441
負債純資産合計	3,848,723	3,713,602

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	2,425,229	1,368,024
売上原価	1,613,990	1,015,506
売上総利益	811,239	352,518
販売費及び一般管理費	674,781	662,951
営業利益又は営業損失(△)	136,458	△310,433
営業外収益		
受取利息	93	118
受取配当金	305	124
受取賃貸料	833	277
貯蔵品売却益	-	129,125
その他	132	8
営業外収益合計	1,364	129,653
営業外費用		
支払利息	8,880	10,570
為替差損	497	2,739
その他	28	191
営業外費用合計	9,406	13,501
経常利益又は経常損失(△)	128,416	△194,281
特別利益		
固定資産売却益	-	309,044
特別利益合計	-	309,044
特別損失		
関係会社整理損	31,620	-
特別損失合計	31,620	-
税金等調整前四半期純利益	96,796	114,763
法人税等	16,569	20,183
四半期純利益	80,227	94,580
親会社株主に帰属する四半期純利益	80,227	94,580

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	80,227	94,580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	390	△806
為替換算調整勘定	6,426	△22,426
その他の包括利益合計	6,817	△23,233
四半期包括利益	87,044	71,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	87,044	71,346
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	2,004,891	285,594	134,744	2,425,229
セグメント間の内部売上高 又は振替高	92,041	14,580	37,470	144,092
計	2,096,933	300,174	172,215	2,569,322
セグメント利益又は損失(△)	66,027	33,058	△1,134	97,951

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	97,951
セグメント間取引消去	7,089
内部利益の調整額	△4,601
貸倒引当金の調整額	36,020
四半期連結損益計算書の営業利益	136,458

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	849,447	293,763	224,813	1,368,024
セグメント間の内部売上高 又は振替高	47,401	9,452	37,609	94,463
計	896,849	303,215	262,423	1,462,488
セグメント利益又は損失(△)	△354,506	△157	22,462	△332,200

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(固定資産の譲渡による資産の著しい減少)

第2四半期連結会計期間において、京都第三工場の土地・建物を譲渡したことにより、前連結会計年度の末日に比べ「日本」のセグメント資産が236,404千円減少しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

損失	金額
報告セグメント計	△332,200
セグメント間取引消去	4,019
内部利益の調整額	13,244
貸倒引当金の調整額	4,503
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△310,433

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。